

読んでみよう 解いてみよう  
**さん太のワークシート**

倉敷市内の靴メーカーが、足袋型スポーツシューズの事業強化に乗り出しました。記事を読み質問に答えましょう。

てい がくねん  
**低学年も  
 チャレンジ!**

**Q1**

足袋型シューズは爪先が二つに割れているのが特徴になります。記事と写真を参考に履き心地を想像して、書いてみよう。

**Q2**

足袋型シューズは2007年から自社ブランドとして展開しています。野球スパイクなどスポーツ用のシリーズ名は何ですか。次の三つから正しいものを選んで。

- ①ピース      ②バルタン      ③パッケン

# 足袋型シューズ事業強化



足袋型スパイクを履いて投球する藤井投手 (©SoftBank HAWKS)

## 岡本製甲

5月1日に結んだ契約では、同社は藤井投手が求める性能やデザインのスパイクを提供する一方、製品のブラッシュアップにつながる情報や助言を受ける。藤井投手は試合などで、同社のスパイクのみを着用。広告や販促では藤井投手の写真を活用できる。「バルタン」強化に向け



2023年8月10日付、地方経済面

## 藤井投手(ソフト)と契約 助言受け来春新製品

岡本製甲は1950年創業、64年設立、資本金1千万円。売上高は非公表。従業員34人(パート含む)。藤井投手は15年、広島カープに入団したが、20年に戦力外通告を受けた。独立リーグを経て21年12月にソフトバンク入り。日本野球機構(NPB)への復帰が決まり、用具の提供先を探していたところ、恩師のおかやま山陽高野球部・堤尚彦監督を通じて岡本製甲の協力を受けることに。以降、足指を広げて踏ん張りやすく、バランスを崩しにくい足袋型スパイクを愛用しているという。

契約は同社側が打診。企業が報酬を支払うのが一般的だが、藤井投手は無償で引き受けた。藤井投手はNPB復帰当初からのサポートに感謝している。足袋型スパイクの普及と自身のレベルアップに向けて力を合わせたいと話している。

岡本製甲社長は「足袋型はスポーツと相性が良く、高いパフォーマンスが期待できる。国内製造の強みも生かし、プロの要求に迅速に応えながら、一般人も使いやすい製品を開発したい」と意気込む。

藤井投手は来春新製品を5月に営業、開発に携わる専任スタッフ1人を配置。野球スパイクの新製品と、ゴルフシューズを来年3月をめどに投入する。ランニングシューズや子ども用運動靴の開発にも着手した。

藤井投手が着用している岡本製甲の足袋型スパイク

**Q3**

メーカーはプロ野球・ソフトバンクの藤井皓哉選手とスパイクに関するアドバイザー契約を結びました。足袋型スパイクを愛用する理由は何ですか。記事から抜き出しましょう。

過去の問題は  
 こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。